

令和4年4月

第1号

高島市議会 真志会 広報

真志会とは

高島市議会において、澤本長俊、磯部亜希の二人で、令和4年2月に新たに結成した会派です。“志をまっすぐに”という思いで、真志(まごころ)を込めて活動していく”そんな想いで名付けました。



令和4年度の施策について

農業の方

野菜等園芸作物用パイプハウス整備(50㎡以上)

自己負担額 **1/2** 以内

(限度額 150 万円/事業主体)

果樹の新植改植 産地としての定着目的で(1箇所 5a 以上)

自己負担額 **1/3** 以内

(補助上限 1 ㎡あたり 100 円)

観光業の方

団体客誘致支援助成金



宿泊費助成 1人1泊につき **1,000円**

※前年度500円からUP

バス利用助成 バス1台につき **50,000円**



介護に関わる方

介護人材確保対策事業

学童保育利用料

1/2 補助

介護職員の家賃

1/2 助成

新規採用
介護職員等
雇用促進助成

1人
30,000円



※新たに市内に転入し介護事業所で働く方のみ

事業をこれからされる方

高島市創業
スタートアップ
応援補助金

補助率 **1/2**

- ・店舗、事務所等の外装・内装改修費
(市内事業者によるもので30万円以上)
- ・店舗、事務所等の家賃(12ヶ月以内)
- ・機械等の設備費(取得価格10万円以上)
- ・宣伝広告費

※上限30万円 商工会の実践型創業塾修了者は上限50万円

保育に関わる方

保育士宿舎借り上げ支援事業

保育所等の事業者が保育士用の宿舎を借り上げるための費用の一部支援

新規採用保育士等雇用促進緊急助成事業

こども園等の設置者が新たに保育士等雇用の場合に
補助金を交付し、新規採用職員の処遇改善を図る



育児中の方



在宅育児支援事業

保育園等に入園希望せず、家庭で育児する保護者

1・2歳児 **30,000円/月**

新婚家庭の方

新居購入費用・家賃・引っ越し費用等助成

世帯所得400万円未満ほか要件を満たす方

29歳以下世帯
上限 **60万円**

39歳以下世帯
上限 **30万円**



市内の実家に居住し、婚姻後3年以内
または交付申請日から1年以内に婚姻予定の方

定住住宅リフォーム補助

40歳未満または小学校6年生までの子を扶養し同居する方

定住するために購入した
中古住宅リフォーム
補助率 **1/8**

相続または贈与された(予定含む)
実家をリフォーム
補助率 **1/4**



代表質問 澤本 長俊

北陸新幹線敦賀駅開業に向けた今後の動向は

会員制リゾートホテル事業が2024年開業に向けて着工されることにより雇用創出や地元産材の利用促進等が促進されます。またキャンプやグランピング等の自然環境の中でのアウトドアの需要が高まっています。さらに、こういったチャンスを後押しするべく北陸新幹線敦賀駅開業も間近に迫ってきています。



北陸新幹線敦賀駅開業の効果を高島市にもたらすためには、今津駅が要であり、駅前周辺の整備が不可欠であると考え、現在の今津駅前周辺のまちづくり構想の進捗状況について問う。

今年度中に最終的な取りまとめを予定しており、近江今津駅周辺地域まちづくり構想策定に関する調査報告書としてまとめ次第、報告します。



こういったチャンスを逃すことなく、経済波及効果をもたらすためには、令和4年度の取り組みが重要になってくると考えます。またJRによる観光誘客を考えると、今津駅は玄関口であり、駅前のハード面を含めた整備が必要と考えます。

環境センター建設のために考えておくべきことは

環境センター後継処理施設建設用地の決定が今年度中にされる予定となっていますが、どこに決まっても、建設予定区、及び周辺区の地域コミュニティを壊すようなことがあってはならないと考えます。
また前回、宮前坊区に与えてしまった多大なるご迷惑とご心痛を思うと、二度と同じ地域をつくってはならないと考えます。



決定後、周辺区へはどのように説明をされていくのか。

施設整備スケジュールや施設の概要、安全性や生活環境影響への対応等、丁寧に説明させていただきます。



建設区のみソフト、ハード合わせて2億円の協力金が交付されますが、周辺区には何もメリットがありません。場所によっては建設区内の住宅より、周辺区の住宅の方が処理施設からの距離が近くなることも考えられます。周辺区に対しても何らかの対応を考える必要があると考えますがいかがか。



まずは生活環境や農林漁業への影響など、周辺区が抱いておられるご不安やご懸念に対し説明させていただき、その上でご意見やご要望などを十分聞き取らせていただき、必要な場合はしっかりと対応してまいります。



前回の公募における経験・教訓を踏まえ、その他にも考えておくべきことがあるのではないか。



浸水想定や活断層など、災害リスクの評価について、今回は要審議項目として設定し、建設検討委員会で適否の判断する審査過程を加えるなど、専門的、技術的知見を踏まえた評価選定になるよう努めて参ります。



一般質問からわかったこと 磯部 亜希

公共交通について

公共交通の中でも今あるバス等を最大限に、少しでも多くの方が利用されるよう、工夫・改善を行い、市民の満足度へとつなげ、公共交通を維持して欲しいと考えて質問しました。



●JRのダイヤ改正によるバスの時刻表への影響はほとんどないということ。

●バスの乗り方でフリー乗降や予約乗合タクシーなどについて出前講座があり、区長会で知らせているが、今後は広報たかしまやホームページ等での周知を考えていく。

●免許返納される方へ、バス等の回数券の交付を考えてほしいが今後、必要性や周辺自治体の状況をみていくとのこと。

●コロナ禍でR元年度からR2年度の比較で公共交通の利用者は約2割減。利用促進として来年度にバス等の無料デーに取り組む。

●予約乗合タクシーの予約を電話以外にスマートフォンやパソコンでもできるようにしてほしいが、システム上難しい。

高島リビング・シフト構想について

コロナ禍を契機にリモートワークが普及し、地方で仕事を続けながら自分らしい生き方を希望する方が増加した今、関係人口の増加と共に高島市への移住、特に子育て世帯に来てもらいたいという想いから質問しました。

①JR西日本と共同で、おためし暮らしがR3年度からはじめられ現在3組のうち2組が定住希望。R4年度はおためし暮らしの住居を6棟に増やす。

②たかしま版「子育てリビング・シフト」では区域外就学制度を取り入れ、その期間は1ヶ月程度、おためし暮らしを利用しながら行う。子どもたちについて学校では転入と同様に適切な支援が行われる。

③子育て世帯向けコワーキングスペースとして、託児スペースも含め、公共施設の未活用スペースを検討。

④農業従事者と農業体験希望者をつなぎ、交流の機会を作ることと考えていて、具体的にはR4度に検討。

⑤Wi-Fi環境の整備について、公共施設でも導入した。どこで使えるのかの見える化を考えていく。